

2. サルモネラのハ虫類からヒトへの感染経路や症状、感染した場合の治療について

問4 ヒトへはどのようにして感染しますか？

答 飼育中のハ虫類を触った又は飼育箱を洗浄した手指などにサルモネラが付着し、これが口に入ることにより感染します。特に子どもは無意識に手を口に持って行くことが多いので注意が必要です。

問5 どのような症状が出ますか？

答 サルモネラによる症状は多岐にわたりますが、通常見られるのは急性胃腸炎です。通常は8～48時間の潜伏期間を経て発症します。また、まれに、小児では意識障害、けいれん及び菌血症、高齢者では急性脱水症状及び菌血症により重症化します。

問6 治療方法は？

答 胃腸炎症状の場合、安易に下痢止めなどの市販薬を使用することは避け、医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。また、医師に対して、ハ虫類に接触したこと又は飼育していることを教えてください。医療機関においては、特に症状が重い場合には抗菌薬（ニューキノロン系あるいは第3世代セファロスポリン系薬）による除菌がなされます。

3. ミドリガメなどのハ虫類の取扱い方法について

問7 ハ虫類を購入する際はどのようなことに注意したらよいですか？

答 ミドリガメをはじめとするハ虫類は、サルモネラに感染していても症状を示さないために外見上は感染の有無が分かりません。子供や高齢者、免疫機能が低下した方がいる家庭等では、ハ虫類を飼育するのは控えるべきです。購入する場合は、ハ虫類の多くはサルモネラを保有していることを念頭に、特に感染する危険性の高い方がいる家庭等では、飼育方法を十分検討してください。

なお、米国においては、サルモネラによる感染症を防止するため、1975年から4インチ（約10cm）以下のミドリガメを含むカメの販売は禁止されています。

問8 ミドリガメなどのハ虫類はどのくらい輸入されていますか？

答 ペットショップ等で販売されているミドリガメ等のハ虫類の多くは、海外から輸入されたものです。我が国では毎年30万頭程度のハ虫類が輸入されており、輸入されるカメの多くは米国産となっています。

カメなどハ虫類の輸入状況 (2010～2013)												
カメ目	2010年			2011年			2012年			2013年(1～6月)		
	29カ国	数量	%	26カ国	数量	%	26カ国	数量	%	22カ国	数量	%
	344,358			282,865			217,725			98,417		
上位5カ国												
米国	252,504	73.3	米国	181,071	64.0	米国	122,021	56.0	米国	43,608	44.3	
中国	68,598	19.9	中国	80,565	28.5	中国	72,655	33.4	中国	34,596	35.2	
ヨルダン	11,885	3.5	ヨルダン	8,506	3.0	ヨルダン	7,400	3.4	コロンビア	9,600	9.8	
ウズベキスタン	2,300	0.7	ザンビア	4,161	1.5	ベトナム	2,722	1.3	ヨルダン	2,251	2.3	
スロベニア	1,840	0.5	ウクライナ	1,540	0.5	ザンビア	2,180	1.0	ザンビア	1,506	1.5	
その他のハ虫類	25,443			38,971			48,583			38,686		
合計	369,801			321,836			266,308			137,103		
※ 財務省貿易統計より(申告額20万円以上)												